えられる対策について検討し、新年度に向けて制度の整備を準備中であります。

**問 産業まつり、地域観光交流事業（花火大会）について**

**2つの事業について各々2回開催されました。成果と反省点、そして今後どのような事業にしていくのか**

**答** 「交流と出会い」や「エネルギーの街、産業の街としての調和と魅力の創出」をテーマに開催させていただき、市民と地域とが一体となって盛り上がりを見せたことで、観光産業の活性化と交流人口の増加により経済効果があったと確信しております。反省点は、会場のレイアウトや送迎バスの運行方法など。特に花火については協賛して頂く方にご理解して頂く必要があります。花火の予算は収入の部では協賛金1、300万円、市からの委託料は400万円、合計1、700万円の予算計上です。これに対して協賛金は、839件、1、106万8千円、市の委託料400万円、収入金額1、506万8千円であります。予算額に対する決算額は、193万2千円が収入不足による減でした。

支出は1、410万円が5、000発の花火の打上経費です。96万8千円がポスター制作費や郵送料等事務費に充てられました。

## 清水澄夫 議員

**問 福祉タクシー券事業は以前から住民が強く要望していたものだが、地区によっては格差があって利用者が少ない原因にもなっている。今回新たな提案もされたが、中身的に制度が後退しているのではないか**

**答** 高齢者にとって利便性の高い制度であるが、市の入り組んだ地形や距離もあり、使い勝手の良い形にならないかとの意見もあった。検討を重ねた結果、今までは初乗りの基本料金しか使えなかったが、利便性を考慮して一乗車につき、定額料金の3枚まで利用でき、助成枚数は48枚から36枚となります。

**問 子育て世帯にとって乳幼児の医療費の負担の軽減は、安心して子供を育てる上で切実な問題だ。全国的に条件の違いはあるが乳幼児医療費の助成は広がっている。御前崎市は就学前の医療費の軽減を実施しているが、小学校卒業まで、中学校卒業までと広げれば市の持出しはいくらか**

**答** 現在の就学前までの場合5、500万円です。小学校卒業までとした場合1億750万円、中学校卒業までとした場合1億3、650万円と見込まれます。

**問 高齢者の配食サービスを要望して来たが、いまだに実施されていない。現行のサービスは自立支援サービスで本来のサービス事業とは違ったもので利用者も少ない。菊川市・掛川市でも行っている幅広い人達を対象にした配食サービスの実現は**

**答** 当市の食の自立支援事業は病院等を退院され、在宅で暮らしている高齢者の自立を促すためのもので、他市のサービスとは若干内容が違います。新しい事業への見直しを図った場合、対象者が増えるので検討が必要と考えます。

## 松林秀一 議員

**問 老人福祉費、敬老事業の見直しについて当初の説明では各地区公民館単位で開催との説明があったが主催はどこか。開催方法、出席者の交通手段、来賓者はどの様に手分けで出席するのか**

**答** 合併後3年間市民会館での集中方式で行ってきましたが、反省点が大変多く年々出席者が減少と